

# 川越map

古墳時代(541年)に創建されたと言われて  
いる。高さ15mの大鳥居が目印。

## 川越氷川神社

川越まつりは毎年10月第3土・日  
に開催される。豪華絢爛な山車  
が町中を曳き回され、2日間で約  
100万人が訪れる。

新河岸川を下ると荒川→隅田川  
を通して江戸へ荷物を運ぶこと  
ができた。商人にとって非常に  
重要な交通の要であった。



美しい内装と外観  
を持つ建物は、国の  
登録有形文化財に  
指定されている。

**川越城跡**  
江戸時代、川越城本丸  
は広さ1025坪、建造  
物の数16棟の広い面  
積を保有していたが、  
明治維新後は次第に  
解体され、現在は本丸  
御殿の玄関部分と大  
広間・家老詰所を残す  
のみとなっている。中は  
見学可能。

**蔵づくりの町並み**  
川越は、江戸初期～明治  
にかけて、江戸東京との物  
流が盛んに行われ、商人  
の町として大いに発展して  
いた。明治26年(1893年)  
3月、川越大火が発生する。  
この火事で町の1/3を焼  
失してしまう。その際、焼け  
ずに残ったのが蔵造り建  
築だった。これに目をつ  
けた商人は、レンガ造りな  
どの近代的で新しい建築  
が流行する中、火に強い蔵  
造りで再建することを決  
め、現在の町並みが形成  
されたと言われている。

広々とした境内で、正月は多くの  
参拝客で賑わう。表情豊か  
な五百羅漢が見もの。

喜多院第27世住職、そして家  
康の側近でもあった天海僧正  
が徳川家康をここに祀った。

観光には、市内を走る「小江  
戸巡回バス」をうまく使いた  
い。喜多院や氷川神社へ行  
くの便利。

埼玉県の名酒が揃うきざげ  
処、川越の土産が揃うおみや  
げ処、地産地消がコンセプトの  
レストラン、まかない処がある。

受験生に人気の勝負の  
神さま。参道がきれい。

**小江戸川越七福神めぐり**

- 1 妙善寺(毘沙門天)
- 2 天然寺(寿老神)
- 3 喜多院(大黒天)
- 4 成田山(恵比須天)
- 5 蓮馨寺(福祿寿神)
- 6 見立寺(布袋尊)
- 7 妙昌寺(弁財天)

**毘沙門天 妙善寺**  
(本川越駅から徒歩約15分)  
**寿老人 天然寺**  
(妙善寺から国道16号方面に徒歩約15分)